

キックベース競技要綱

【日時】

2018年11月17日（土）

11月18日（日）

雨天時について

当日もしくは前日が雨天であった場合は試合を中止することがある。

【会場】

1日目 野球場、春日グラウンド、多目的グラウンド

2日目 野球場、春日グラウンド、多目的グラウンド

【部門】

同一部門において1人が複数のチームに所属することは禁止とする。

一般部門

〈登録制限〉

・特になし。

【試合形式】

以下のいずれかの形式で行う。

トーナメント形式

- ・ 準々決勝までは試合規定回数を5イニングとし、試合規定時間を35分とする。5イニング終了時点で同点の場合は延長戦をタイブレークで行う。但し、試合規定回数に達しない場合でも、試合規定時間を過ぎると思われる場合は審判の判断により新しいイニングには入らないものとする。それでも決着がつかない場合は代表者によるジャンケンで勝敗を決める。
- ・ 準決勝以降は試合規定回数を7イニングとし、試合規定時間を50分とする。7イニング終了時点で同点の場合は延長戦をタイブレークで行う。但し、試合規定回数に達しない場合でも、試合規定時間を過ぎると思われる場合は審判の判断により新しいイニングに

は入らないものとする。それでも決着がつかない場合は代表者によるジャンケンで勝敗を決める。

※タイブレークとは

イニングの最初から2アウト満塁で始めることである。

- ・コールドはなし。

リーグ形式

- ・試合規定回数を5イニングとし、試合規定時間を35分とする。
- ・試合規定回数に達しないうちに試合規定時間を過ぎると思われる場合は審判の判断により新しいイニングには入らないものとする。
- ・勝利チームに3点、同点の場合は両チームに1点の勝ち点を与え、勝ち点の多い順に順位を決める。勝ち点と同じ場合は当該チーム間の勝敗で順位を決める。それでも決まらない場合は代表者によるジャンケンで順位を決める。
- ・コールドはなし。

【ルール】

- ・原則として、公認野球規則に準ずる。
- ・試合規定人数は1チーム6人。（交代要員は無制限で登録可。）
- ・試合開始最低人数は1チーム5人。
- ・試合開始時に試合規定人数に満たない場合はペナルティを課す。
- ・交代は自由だが、打順は守らなければならない。（一度交代して外に出てもまた出場できる。）
- ・男子の人数は試合開始時より増やしてはならない。

コート

- ・三角ベースを使用する。
- ・三角形のホームベースを用い、その横幅をストライクゾーンとする。
- ・ホームベースを中心とする半径7mの弧をバントラインとし、半径12mの弧を守備ラインとする。
- ・本塁と一塁間の距離は21.5mとする。
- ・一塁においてダブルベースを使用する。
- ・一塁と二塁を結んだ直線を内野ラインとする。
- ・ワンベースラインを採用する。
- ・コートの広さは無制限とする。（但し、ワンベースラインは例外とする。）

投手

- ・ 投球はホームベースから 12m の距離にある規定の位置から行う。
- ・ 意図的なノーバウンドまたはバウンドボール、速球と審判が判断した場合はボールとする。

打者

- ・ 打撃は全て足で行う。
- ・ 2 ストライク後のファールはアウトとする。
- ・ バントラインを越えない打球はファールとする。但し、そのラインを越える前に守備がボールに触れた場合はその打球はフェアとする。
- ・ 自打球はファールとする。
- ・ 打撃時に軸足がホームベースラインより完全に前に出ている場合はファールとする。
- ・ 振り逃げは適用しない。
- ・ フォアボールのとき、打者は一塁への出塁か打撃の継続の一方を選択できる。打撃を継続する場合はボールカウントは 3 ボールのままとする。

走者

- ・ 打者がボールを打つまでベースを離れてはならない。
- ・ ベースから離れてボールに当たった場合はアウトとする。但し、一塁を走り抜けた場合と、頭部に当たった場合を除くが、明らかに故意に当たった場合はアウトとする。
- ・ タッチアップルールは適用する。
- ・ 各コートにワンベースラインを引き、悪送球による進塁はそれを超えた場合はワンベースまでとし、それ以外はプレーオンとする。
- ・ スライディングは禁止とする。

守備

- ・ 捕手の配備は任意とする。捕手を配備しない場合は投球時の捕球とその返球のみ主審が行う。
- ・ 捕手は、打者がボールを打つまでホームベースラインより守備側に出ることは禁止とする。
- ・ 捕手以外は、打者がボールを打つまで守備ラインよりホームベース側に出ることは禁止とする。
- ・ インフィールドフライのルールは、満塁時にのみ適用する。
- ・ キックによる送球は可。

ハンディキャップ

- ・対戦する 2 チーム間で出場する女子の人数に差がある場合は女子が多い方のチームに (女子の人数差×2) 点を与える。(上限は 6 点とする。但し、ペナルティを含まない。)
- ・女子が打席に入ったときは、次のようにする。
本塁と一塁との距離は 12m とし、その地点に女子用ベースを置く。その場合も本来の一塁ベースをファールの基準とする。
女子用ベースでセーフとなった場合は試合が止まった時点で本来の一塁ベースに移動する。直接二塁を狙う場合は女子用ベースから最短距離で進むことができる。
投手・捕手以外の守備は女子が打つまで内野ラインよりホームベース側に出ることは禁止とする。
- ・男子の打球を女子が外野でキャッチした場合はバウンドした場所にかかわらずワンバウンドして捕ってもアウトとする。但し、ファールの場合はこれに該当しない。
※ワンバウンドした時点で走者にとってはヒット扱いとなるので、ヒット時と同様に進塁しても構わない。但し、2 アウト時はノーバウンドキャッチと同じ扱いとし、得点は入らない。

ペナルティ

- ・試合開始後に、出場人数を増やすことはできない。
- ・相手チームに 3 点加算する。

【審判】

- ・スポーツ・デー学生委員会

【注意事項】

- ・選手本人が登録されていないチームで参加することは禁止とする。
- ・不正出場があったチームは失格とする。
- ・試合では、スポーツ・デー学生委員会の用意したボール以外の使用は禁止とする。
- ・遅刻者は審判に申し出た上で、交代でのみ出場可。
- ・スパイクシューズの着用は禁止とする。
- ・会場内での食事、喫煙は禁止とする。
- ・審判の指示に従わなかった場合は何らかの措置をとることがある。